

「診療情報を用いた尿沈渣検査の有用性に関する研究」に対する ご協力のお願い

研究責任者 涌井 昌俊
研究機関名 慶應義塾大学医学部
(所属) 臨床検査医学教室

このたび当院では上記の医学系研究を、慶應義塾大学医学部倫理委員会の承認ならびに研究機関の長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施します。

今回の研究では、同意取得が困難な対象となる患者さんへ向けて、情報を公開しております。なおこの研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

2019 年 12 月から 2025 年 3 月までに当院で尿沈渣検査を受けた方が対象になります。また研究機関において、診療情報活用について不同意文書を提出された方を除きます。

2 研究課題名

承認番号 20251115

研究課題名 診療情報を用いた尿沈渣検査の有用性に関する研究

3 研究組織

研究機関

慶應義塾大学医学部・慶應義塾大学病院

研究責任者

准教授 涌井 昌俊

4 本研究の目的、方法

尿沈渣検査により得られる有形成分の出現状況と、その他の臨床検査データとの関連性について診療データベースを用いて解析し、尿沈渣所見の臨床的有用性を定量的に明らかにします。例えば、尿沈渣中に出現する円柱類やその他の成分と、腎機能の関連性を解析することで尿沈渣成分が腎機能悪化や早期診断の予測マーカーとなる可能性があります。また、尿沈渣中には臨床的意義が不明確な成分があるため、診療データから網羅的に解析することで病態との関連性について新たな知見が得ることができると想定しています。これにより、尿沈渣検査の客観性を高め、病態評価や診断支援への貢献を図ることを目的とします。

方法は、慶應義塾大学病院で尿沈渣検査を行った患者さんの検査結果に加え、性別、年齢、身長、体重、血圧、処方・注射歴、処置歴、受診区分（入院・外来）、検査データといった検査結果に影響を与えるパラメータ情報を電子カルテより取得し、解析を行います。

5 協力をお願いする内容

診療目的で施行された尿沈渣検査で得られた検査データ、性別、年齢、身長、体重、血圧、処方・注射歴、処置歴、受診区分（入院・外来）、検査データといった検査結果に影響を与えるパラメータ情報を電子カルテより所得する場合があります。

6 本研究の実施期間

研究実施許可日～2027 年 12 月 31 日

7 外部への試料・情報の提供

外部への試料の提供はありません。本研究では患者さんの情報は仮名加工しております。患者さんに関する情報が外部に提供することはありません。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、検査結果・臨床情報利用の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

慶應義塾大学医学部臨床検査医学 湧井昌俊（研究責任者）

E-mail: wakuism@keio.jp

直通電話：03-5363-3602

以上